



学校だより

加古川市立氷丘中学校

氷丘の風

第3号 R8.5.30



1年生 わくわく校外学習

5月20日、1年生が「わくわく校外学習」に行ってきました。午前、兵庫県立芸術文化センターで「わくわくオーケストラ教室」を鑑賞し、午後は、三田市の 人と自然の博物館での班別研修を行いました。雨の予報となっていたが降られることもなく、早朝からご準備くださった昼食も屋外でとることができました。



「わくわくオーケストラ教室」では、中学生も耳にしたことがあるスターウォーズのメイン・タイトルの演奏から始まり、「白鳥の湖」、「新世界より」を解説付きで鑑賞しました。そのあと、嵐の「ふるさと」をオーケストラに合わせて歌いました。アンコールでは、他校生とも一緒に手拍子をするなど、ホールの一体感を感じるプログラムでした。一流の楽団の生の演奏により、ホールの空気が振動する音の響きを体感した貴重な機会となりました。

人と自然の博物館では、充実した展示物を班ごとに協力してスタンプラリーをしながら見学しました。今後の校外学習や修学旅行での班別行動の練習にもなったことと思います。1年生も、氷丘中の学校教育目標である「主体的に行動する」をしっかり引き継いでくれています。



運動部 集大成の大会へ

6月中旬から、いよいよ市中体連総体が始まります。多くの運動部では、勝ち上がれば市→東播→県→近畿→全国と繋がっていく大会です。3年生にとっては、活動してきたことの集大成となります。また、「かこ☆くら」に移行するサッカー部は部活動として最後の大会です。

どの部も、残り少ない練習日数の中で、部員一丸となって悔いの残らない活動をしてほしいと願っています。

中学校の部活動で一番大切なのは、その日までの過程です。そして、大会当日は結果を気にせず、力を出し切ってくれることを期待しています。

生成AI 今月号の見出しは、すべて生成AIで作成してみました。非常に便利です。どんどん進化を続けていますし、今後ますます生活に入り込んできます。反面、使い方や注意点を知らないと、危険な一面もあります。危険だから使わせないというよりも、適切な使い方を学んでいくという考え方が必要になってくるのではと思います。

6月の主な行事予定

日	曜	行事
3	水	生徒会執行委員会
4	木	歯科健診(全学年)
5	金	2年校外学習事前指導 6P
8	月	2年校外学習(広島)
9	火	2年校外学習(広島)
10	水	2年休業日
11	木	部活動壮行会 6P
12	金	3年進路説明会 5,6P
13	土	市総体(陸上部・柔道部)
14	日	市総体(柔道部)
19	金	市総体 ※給食なし
20	土	市総体
21	日	市総体(予備日)
24	水	期末テスト※給食なし(~26日) 3年アルバム個人写真撮影(~25日)
29	月	腎臓検診(未検者フォロー)
30	火	3年アルバム部活写真撮影(~7/1)

しっかり学び、主体性を育んだ 修学旅行

5月12~14日、沖縄方面への修学旅行を実施しました。生徒の実行委員会が考えたスローガンは、「繋(ちな)ジュン!ゆいまーるの心<美ら海に誓う、友情と永遠の平和>」です。昨年度から学年の先生とともに準備を進めてきました。沖縄方面は梅雨入りしていたため天候を心配しましたが、1日目の昼すぎに少雨が合った程度で、好天に恵まれました。気温も高すぎず、絶好の気候で活動することができました。

1日目は、平和学習が中心でした。事前から学習してきたことを踏まえて、現地で見・聞いて・感じての学びでした。学級ごとにガマ・ひめゆり平和祈念資料館の見学の後、沖縄平和祈念公園に全員が集まり平和集会と平和講演会を行いました。観光バスでの移動中も、平和学習や地域学習に定評のあるバス会社さんに依頼した甲斐があり、有意義な時間を過ごすことができました。

2日目は、朝からホテルのプライベートビーチで、沖縄ならではの海の体験ができました。ライフセーバー付きで、海に入れる区画も明確化されており、安全に過ごすことができました。美しい景色や海の色はきっと心に残ったことと思います。その後、フェリーで伊江島に渡り、昼前から民泊体験をしました。熱烈的な歓迎をさせていただいて、「島の子になろう」の合言葉のもと、翌日の朝まで過ごしました。それぞれの民泊施設で様々な体験をし、地元の料理を出していただきました。

3日目は、3つのグループに分かれて伊江島を出発し、国際通りでの班別研修でした。昼食も班ごとに考えてとり、時間に間に合うように集合することができました。本校の3年生は、昨年度、万博や大阪コリアタウンへの校外学習を電車移動で実施した経験がじゅうぶんに生きており、社会性が育てられていることを実感することができました。何よりこの3日間を通じて、生徒たちの楽しそうで生き生きとした表情が常に見られたことをうれしく思います。きっと心に残った修学旅行になったことと思います。

<帰りの飛行機のできごとから> 本校のすぐ前に別の中学校が座っていました。伊丹空港に到着し飛行機から降りる際、その学校は、先生が「シートベルトを外して」、「はい、立って」、「棚から荷物を取って」、「進んで」と次々と指示をしておられました。生徒はそれに従って動いていました。本校の生徒は、指示はありません。機内アナウンスを聞いて周囲を見て判断して動きまわりました。指示をされるのではなく、自分で考えてその場にあった行動ができていました。すばらしい生徒たちです。これが3年間積み重なると大きな力の違いになると思います。本校が大切にしている『主体性』が育っているとうれしく感じたできごとでした。



※ 各行事の様子、今回の記事の写真など、ホームページにUPしています。ぜひ御覧ください。